

この質疑応答録は、2019年10月30日(水)に開催したアナリスト、ファンドマネージャー向け決算説明会にて、ご参加の皆様からいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

質問1

コンクリート構造物向け工具の第2四半期の実績について教えてください。

回答1

コンクリート構造物向け工具の第2四半期の実績は38億円。国内が11億。海外が27億円となりました。海外は円高の影響を受けましたが、北米を中心に実績を伸ばしました。国内外トータルの数量ベースで申し上げますと、消耗品は10%台半ば、機械は10%台前半の伸びとなっています。下期以降も同様の伸長を期待しています。

質問2

土木市場の開拓状況はいかがですか。下期の見通しや来期に最終年度を迎える中期経営計画も踏まえて、教えてください。

回答2

発売して約2年になりますが、土木市場では、結束力の強さが認知されてきたこと、ミミの高さ(結束部の結び目の高さ)が低いことにより、現場管理を行う監督の方からの使用許可を得やすくなっており、高速道路の床版や新幹線工事での導入が進み始めました。ただし、土木市場では、鉄筋径が太い場合がありますので、現行品RB-440Tで対応できる使用箇所で提案を行っております。国内、海外ともに機械の性能向上によりこれまで導入ができなかった現場でも導入が進み、中期経営計画に対する進捗も順調です。

質問3

現時点でのコンクリート構造物向け工具の土木市場の占める売上割合は。

回答3

土木市場は新規開拓市場でもあり、普及を進めている段階です。現時点では、建築市場の割合が高くなっています。

質問4

想定為替レートを変更し、業績予想を修正されましたが、為替影響による影響額を教えてください。

回答4

下半期における影響は、前年に対し、売上△8億円、利益で△4億円です。当初計画に対しては、年間で売上△8億円弱、利益に対し△4億円です。

質問 5

消費増税による駆け込み需要はありましたか。

回答 5

売上 1 日分程度の増加影響があったと考えています。

質問 6

オートステープラ事業について、下期の動きはどのようにお考えですか。

回答 6

第 2 四半期の水準よりは良いと考えていますが、長期のトレンドとしては微減が続くと想定していません。

質問 7

為替による影響額について、セグメントごとに教えてください。また、人民元の影響によるインダストリアル機器への影響を教えてください。

回答 7

上半期の実績ベースでは、インダストリアル機器部門、オフィス機器部門が減収減益要因、HCR 機器部門は増益要因となっています。

人民元によるインダストリアル機器への影響は、機工品事業における国内販売向け消耗品や住環境機器部門では原価ダウンとなります。

当社グループ全社で見ると、外貨建て売上と仕入のボリュームはバランスがとれており、米ドルリンクで、為替の動き幅、方向が同じであれば、営業利益に与える影響は軽微です。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が 10 月 30 日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。